

Our Future 2

ライフデザイン領域における au 経済圏拡大



ライフデザイン領域推進の意義

KDDIは通信事業基盤を活用し、決済・金融、エネルギー、コンテンツやコマースなどライフデザイン領域として非通信事業拡大に向けた取組を積極化しており、お客さまの生活パートナーとなることを目指しています。

通信事業の競争環境が厳しくなっているなか、ライフデザイン領域の推進により、通信事業に頼らない収益体質を構築できることに加え、「お客さまとのエンゲージメント向上」への効果が期待されます。

KDDIは以前からNPS^{*1}を高める取り組みを進めてきましたが、ここ数年の分析の結果、お客さまとの接点が多いほどNPSが向上するという相関の結果が見られています。ライフデザイン商材はお客さまの生活をより豊かにするさまざまな商材をご提供しており、接点拡大に寄与してまいりました。

今後もau PAYのように、お客さまが日常的に利用されるサービスでさらなる接点を強化していくほか、au でんき・金融サービスなど長期間ご契約いただくタイプのサービスもご利用いただき、お客さまの生活に欠かせない存在となることで、お客さまとの強固かつ長期的なエンゲージメント構築を目指します。

*1 Net Promoter Score(お客さま推奨度)

▼ エンゲージメント向上に資するライフデザインサービス



ライフデザイン領域の成長戦略とau 経済圏拡大

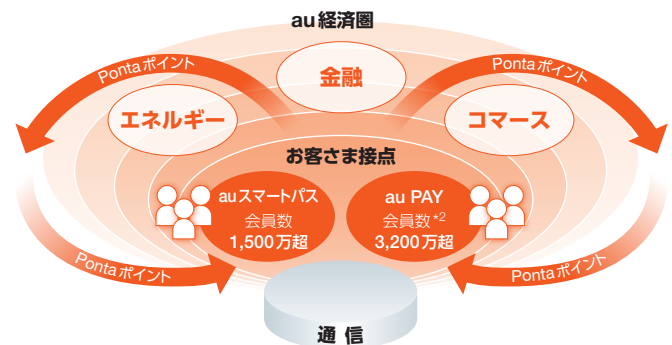
ライフデザイン領域の成長は、各種サービストランザクションの増加に伴う、au 経済圏の拡大につながります。お客さまにとって、より魅力的な経済圏にするためには、個々の商材を磨き上げることはもちろん、KDDIのお客さま接点をさらに活かしていくことが重要です。

KDDIは既存の通信顧客基盤に加え、以下の強固なお客さま接点を有しています。そこから、au 経済圏へご参加いただくことで、お客さまにはPontaポイントが還元されます。さらに、たまったポイントをおトクに使っていただく場の一つとしてau PAYマーケットをご用意しており、ポイントがau 経済圏の中で循環するエコシステムを構築しております。今後、さらなるポイントの好循環を創出し、経済圏の最大化を目指していきます。

【KDDIの強固なお客さま接点】

- ① au PAY会員3,200万超
- ② Ponta会員9,200万超
- ③ auスマートパス会員1,500万超

▼ ライフデザインの成長戦略/au 経済圏の拡大



(注)記載の数値は2021年3月末時点
*2 au PAY会員数+au PAYカード会員数

お客さま接点の中心となるau PAYが好調に拡大

お客さま接点の中心であり、au 経済圏拡大のカギとなるau PAYの2021年3月末の会員数は3,200万、スマホ決済・ポイント利用可能箇所は398万を超えるなど、決済者数・加盟店数・取扱高は順調に伸長しています。

2020年5月にau WALLEETポイントをPontaポイントと統合し、1億人超となる国内最大級のポイント会員基盤を構築しました。この会員基盤をベースに、KDDIの先端技術とPonta提携社であるローソンが保有する約14,600の店舗^{*3}などの両グループのアセットを組み合わせ、さらなる接点拡大とお客さまに新たな体験価値の提供を推進しています。

また、ローソン、ユニクロなどの企業やドラッグストア・スーパーマーケットなどの業界とPontaポイント還元キャンペーンを行い、ご利用者が増加しています。今後もお客さまが日常的に利用される店舗を中心に、積極的に加盟店拡大を進めていきます。

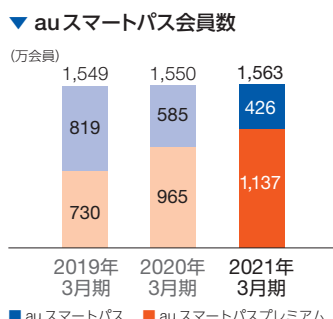


*3 2021年5月時点

お客さま接点かつ、強固なサブスクリプションモデルとなるauスマートパス

おトクなコンテンツサービスが魅力であるauスマートパスの会員数は2021年3月末に1,500万を超えています。

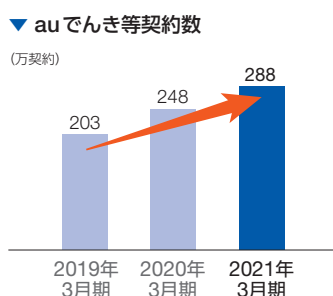
サブスクリプションモデルとして、ライフデザイン領域の収益基盤を支えているだけでなく、au PAY同様に強固なお客さま接点を構築しています。



auでんき等契約数拡大に伴うau経済圏への貢献

auでんきについても、2021年3月末にauでんき等契約数が288万を超え、お客さま基盤が堅調に拡大しています。

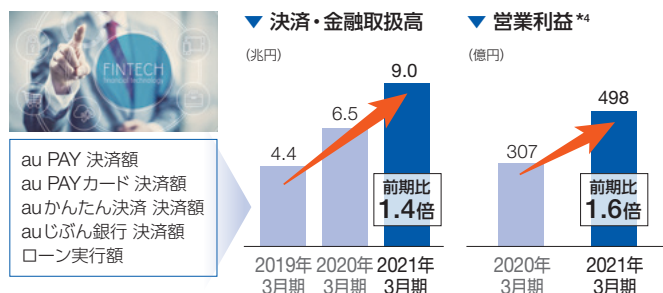
auでんきは毎月の電気料金に応じて1%、3%、5%のポイントが還元され、お客さまにおトクにご利用いただいております。UQ mobileで「でんきセット割」が開始する等、今後もさらなるお客さま基盤拡大が期待できます。



au経済圏拡大を牽引する決済・金融事業

ライフデザイン領域の成長牽引役の一つは決済・金融事業です。決済事業においてはau PAYコード決済額が拡大したほか、コロナに伴う巣ごもり影響もあり、キャリア決済であるauかんたん決済が大きく伸びました。金融事業は、auじぶん銀行の住宅ローンをはじめとしたauじぶん銀行決済額が大きく伸びています。

結果、21.3期に決済・金融取扱高は9兆円を超え、決済・金融事業の営業利益も498億円と前期比で1.6倍と大きな伸びとなりました。



*4 KDDIグループベース、auフィナンシャルホールディングス含む

さらなる成長が期待される決済・金融事業

KDDIならではの商品・サービスカ

2020年度に、auじぶん銀行の住宅ローンauモバイル優遇割やau PAYゴールドカード特典強化、auカブコム証券のポイント投資など、当社ならではの競争力の高い商品をリリースしました。お客さまにも大変ご好評をいただいております。着実に契約者数拡大に寄与しています。

<p>au じぶん銀行</p> <p>住宅ローン auモバイル優遇割 (2021年3月提供開始)</p> <p>「じぶんでんき」とセットで利用すると金利が最大年0.1%*5引き下げに</p>	<p>au PAYゴールドカード 特典強化 (2021年2月提供開始)</p> <p>au通信サービスやau関連サービスご利用でPontaポイントがさらにたまりやすく</p>	<p>au カブコム証券</p> <p>ポイント投資 (2020年9月提供開始)</p> <p>たまったPontaポイントで気軽に投資を開始</p>
---	---	--

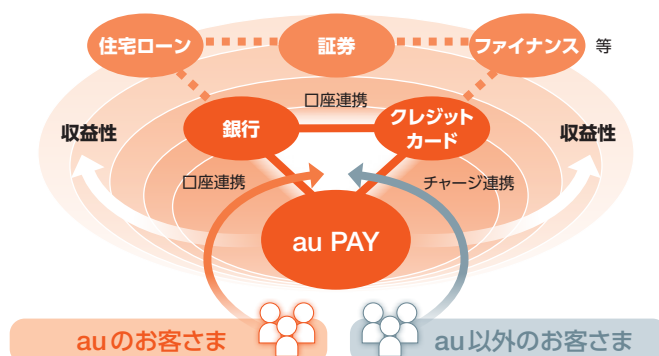
*5 「住宅ローンじぶんでんき優遇割」(年0.03%引き下げ)と、「住宅ローンauモバイル優遇割」(年0.07%の引き下げ)の合計

今後の成長戦略

今後はau PAYを起点に、さまざまな決済・金融サービスの利用につなげていきます。au PAYを日常生活でより便利にご利用いただくためには、auじぶん銀行の口座やau PAYカードとのau PAYのチャージに係る連携が重要です。

その中で、au PAYカードの利用が増えれば銀行口座残高にもプラスに働き、ファイナンスの拡大も見込まれます。加えて、住宅ローンや、証券や保険等とのクロスセルの可能性が広がり、金融事業の基盤がさらに広がります。

当社はau PAYを通じ、上記の好循環を創出していきます。



ニューノーマル時代の新たなサービス

2021年6月、新たな生活様式におけるスマホ・セントリックなサービスがスタートしました。menu株式会社との提携により、コロナ禍で需要増が見込まれるフードデリバリーをはじめとした飲食サービスが強化されたほか、auウェルネスによる健康・医療体験のトータル支援が可能となりました。

今後もお客さまの身近な存在になることを目指し、新たな価値創出に取り組んでまいります。

